



日本赤十字社

埼玉県有功会

会 報

2023年12月

第24号



特 集

ともに支え合う地域をつくる

「赤十字奉仕団」

会 長 挨 拶

日に日に寒さが増してきましたが、皆様には健やかにお過ごしのことと思います。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられてから半年以上経ち、生活や社会経済が日常を取り戻しつつあります。

本会におきましても、総会で4年ぶりに会員の皆様が食事を共にして親睦を深めることができました。来年1月には新春のつどいの開催を予定しており、皆様と新しい年をお祝いできますことを楽しみにしております。

今号は、我々が支援する赤十字活動への理解が深まるよう内容をリニューアルし、赤十字奉仕団を特集しました。今後も有功会の活動とあわせて赤十字の様々な情報をお届けできるよう努めてまいりますので、皆様にはなお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

会長 利根 忠博

ともに支え合う地域をつくる 「赤十字奉仕団」

赤十字活動のパートナー

赤十字奉仕団をご存じですか？ 赤十字の活動は実にさまざまな方に支えられて成り立っています。有功会が「主に資金面で赤十字を支えている組織」であるのに対し、赤十字奉仕団は「赤十字の人道的な活動を実践するボランティア組織」です。皆様からご支援いただいた資金を活用して、幅広く活動を進めています。



災害に備えた炊き出し訓練で、地域の子供達に非常食の作り方を伝える地域赤十字奉仕団員。
東日本大震災のとき、3月の凍える寒さのなか、地域奉仕団が豚汁とおにぎりの炊き出しを実施。「温かいものを口にできるだけで生き返る」との被災者の言葉が印象に残っている。

始まりは…

赤十字奉仕団の始まりは1887年（明治20年）に設立された「日本赤十字社篤志看護婦人会」。戊辰戦争や西南戦争で敵同士だった人々が赤十字の理念のもとに集まりました。初期のメンバーは、元大名夫人や旧幕府・新政府双方の重鎮の夫人などが中心でした。第二次世界大戦後にまもなく解散しましたが、アメリカ赤十字社の援助により赤十字奉仕団として結成され、今年、創設75周年を迎えました。埼玉における結成第1号は、蕨市の奉仕団です。



赤十字奉仕団の前身『日本赤十字社篤志看護婦人会』



左)災害時のボランティア活動の経験を生かし学校等での防災教育をサポート



右)地域イベント等での心肺蘇生法やAEDの体験を通し市民へ救急法を普及

奉仕団の活動は被災者の支援から地域福祉まで

奉仕団には「地域奉仕団」「青年奉仕団」「特殊奉仕団」の3つの種類があり、現在県内では61団、約6500人が登録しています。赤十字運動の先頭に立ち、災害時の炊き出し、街頭募金活動、社会福祉施設や独居高齢者の訪問、救急法等の普及、青少年赤十字メンバーの支援など、地域のニーズに応じ、また、資格や特技などの持ち味を生かしながらさまざまな活動を進めています。

地域ぐるみの支え合いを大切に

吉見町赤十字奉仕団では、恒例行事として地元の大学と連携し、1人暮らし高齢者との交流会を開催しています。健康体操を通じた参加者同士の交流をはじめ、栄養学を学ぶ学生から手作り弁当も提供されます。



左)高齢者と楽しく触れ合う学生たち
右)学生による手作り弁当

吉見町赤十字奉仕団 小野澤 ヨシさん

“地域のために”という思いで長年活動していますが、このような場にいると逆に自分が元気になります。



行事・活動報告

Report 1 第52回有功会総会

令和5年6月26日(月)、ホテルプリランテ武蔵野(さいたま市中央区)にて総会を開催しました。32名の方にご参加いただき、令和4年度事業報告・決算および令和5年度事業計画・予算が全て承認されました。その後の講演では、さいたま赤十字病院



現地での活動を報告する齋木氏

の齋木茜氏に「日赤中東地域代表部(レバノン)での活動報告」と題してお話いただきました。講演後、4年ぶりに食事をを行い、会員同士の親睦を深めることができました。



食卓を囲んでの交流

Report 2 日赤紺綬・有功会会長協議会総会

令和5年10月12日(木)、広島市内のホテルで開催され、利根会長が出席しました。総会では令和4年度決算などの審議と各有功会の活動報告、また、総会後には、広島東洋カープなどで活躍した元プロ野球選手の達川光男氏による「達川式一流リーダーシップ論と育成術」と題した講演が行われました。赤十字を支える仲間が全国から一堂に集まり、情報交換や懇親を深める機会になりました。



達川光男氏による講演



総会の様子

Report 3 日帰り研修 in 川島

令和5年10月26日(木)、埼玉県防災航空センター・金笛しょうゆパーク・遠山記念館(いずれも川島町)を見学する日帰り研修を開催しました。特に埼玉県防災航空センターでは、格納庫を見学し、間近で防災ヘリの機体や救助で使用する資機材について説明いただくなど、普段ではできない体験をしました。参加者からは「活動の様子をわかりやすく教えてもらって心強く思った」など好評をいただき、楽しみながらも学びのある研修となりました。



埼玉県防災航空センター



金笛しょうゆパーク



遠山記念館

突撃レポート!

日赤職員が“いま”伝えたい人



突撃レポーター
振興課 西野 美月

鴻巣市出身。元陸上部。
子育て奮闘中!

コーヒーで社会貢献!

ヘブンズキッチン 関 秀和さん



行田市を拠点に「ヘブンズキッチン」を営む関さん。もともとキャンプが好きで、たき火で煎った豆でコーヒーを入れてからその炭に。キッチンカーでコーヒーやワッフルを販売していたが、今年5月から“世界を救うfree coffee”をテーマに活動を展開している。コーヒーは自家焙煎のスペシャルティコーヒーを使用し、寄付を頂いた方には一杯無料で提供。コーヒー豆は1袋50g 300円だが、これも全て日本赤十字社へ寄付される。「スペシャルティコーヒーの味を身近に感じてほしい。そして、その一杯で誰かを救うことができる。」そうした思いを抱いて出店していくうちに、理解や共感が得られ多くの人が集まるように。関さんは「活動を通して“人のやさしさ”に触れることがこのfree coffee。これから未来に向けて同じような思いを継ぐ人が出てきてくれたら嬉しい」と笑顔で話してくれました。



関さんのInstagramはこちら▶

相続寄付・遺贈のご案内

～ご自身や故人の思いを広く社会に役立てるために～

- ♥ 寄付をされた財産には相続税がかかりません
- ♥ ご希望に応じて、故人のお名前を入れた感謝状を贈呈いたします

相続寄付・遺贈の方法を分かりやすくまとめたパンフレットをご用意しています。無料で郵送させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

TEL. 048-789-7117 (振興課)

今、ご相談が
増えています



Report 吉川市で相続セミナーを開催

令和5年9月23日(土)、埼玉司法書士会・さいたま地方法務局・吉川市との共催で遺言・相続に関するセミナーを開催。「スムーズな相続を進めるためのポイント」や「遺言書の残し方」など、“今だからこそできること”について理解を深めていただきました。



67名に参加いただきました

会員特典

健康診断費3,000円が補助されます

令和4年度からスタートした本事業は、埼玉県内の赤十字病院で健康診断を受診いただいた会員の方に対して、費用の一部(3,000円)を補助するものです。皆さまのより一層の健康増進を図るため、ぜひご活用ください。

新入会員のご紹介

(令和5年3月～令和5年12月)

- 【個人】 柿沼 恭子 様 (深谷市)
石井 力 様 (東松山市)
平野 隆之 様 (新座市)
高林 正宏 様 (白岡市)

【法人】 ㈱カイゴテック 様 (熊谷市)

寄稿募集

皆様の寄稿をコラムで紹介します♪

会員の皆様からの会報への寄稿を募集しております。写真やエッセイ、俳句、グルメ情報など、何でも結構です。皆様からのご応募を心からお待ちしております。

おくやみ

(令和5年3月～令和5年12月)

石川 義規 氏(川口市)
岡田 廣 氏(熊谷市)